

蒲生氏郷公顕彰事業

(公財)岡田文化財団助成

第十三回

松阪能楽

喜多流 半能

野

ののみや

宮

遙か昔の儚い夢。
変わらぬのは、
この心と
リンリンと鳴く
虫の音だけ。

狂言 ね おん ぎょく 寝音曲
和泉流

[日 時] 令和8年

11月2日(月)

午後5時開演 (午後4時30分開場)

[入場料]

1,000円 (自由席・税込)

[会 場]

農業屋コミュニティ文化センター
三重県松阪市川井町690

チケット一般発売

9月16日(水) 午前9時より

発売所

・クラギ文化ホール管理事務所 TEL 0598-23-2111
・松阪能楽連盟 (上森) TEL 0598-23-1935

[主催] 松阪能楽連盟 [共催] 松阪市 [後援] (一社)松阪市観光協会・松阪商工会議所・松阪呉服商組合

第一部（松阪市民による能楽発表会）

開会のあいさつ
(午後5時)

仕舞
喜多流

岩 船 津田 多恵

巻 絹 江菅 由莉

ハ 島 片上 結愛

遊行 柳 徳田 海瑠

経 政 二井 栄太郎

仕舞
観世流

俊成 忠度 片上 聡一郎

巻 絹 曾原 純子

東 北 喜多村 晴美

班 女 北村 英子

玉 鬘 大北 京子

大 江 山 尾形 督

松 虫 宮下 慎也

休憩

あいさつ
(午後6時)

松阪市長 竹上 真人

能『野宮』解説

第二部（能楽鑑賞会）

狂言

ねおんぎよく
寝音曲

シテ(太郎冠者)
アド(主人)
後見
井上 松次郎
井上 蒼大
小林 丈隼

能(半能)

ののみや
野宮

シテ(六条御息所の霊)
ワキ(旅僧)
笛
小鼓
大鼓
後見
長田 郷
飯富 雅介
山村 友子
後藤 嘉津幸
河村 眞之介
松井 俊介
吉村 有哉

地謡

高林 呻二
高林 昌司
福田 勝
浅井 勉
松田 幸孝
二井 栄太郎
中西 勤
(午後8時終了予定)

野宮

ーあらすじー

こは秋も末の嵯峨野。
旅の僧(ワキ)が都を巡り、
野宮の旧跡を聞き知って訪れた。
そこで昔ながらの丸木の鳥居
などを見て夕気色に心澄む想いで
休んでいると、一人の女性(前
シテ)が現れる。

僧が言葉掛けると「こは
野宮の旧跡で、九月七日は人知
れず神事を行っているのです。
光源氏がここを尋ねたものこの日
なのです。」といい、六条御息所の
歌を口ずさみ、神の葉を神前に
手向ける。

小柴垣を懐かしげに見渡し、
御息所の事などを様々に語った
後、「御息所の霊」と名乗り鳥居
の陰に姿を隠す。

夜もすがら読経して御息所
を弔う僧の前に、御息所の霊
(後シテ)が華やかな姿で破れ車に
乗って現れる。

賀茂の祭りで葵上との車争いに
敗れた事を語り、その怨みをを
晴らしてほしいと僧に頼み舞を
舞うが「この迷った姿を神も受
けてはくださるまい」とまた、
車に乗ってこの世の外へと消え
去ってゆく。

今回は後半部分の御息所が
昔を偲んで舞を舞い、野宮の情景
などを表現し、破れ車に乗って
消え去る場面を演じます。

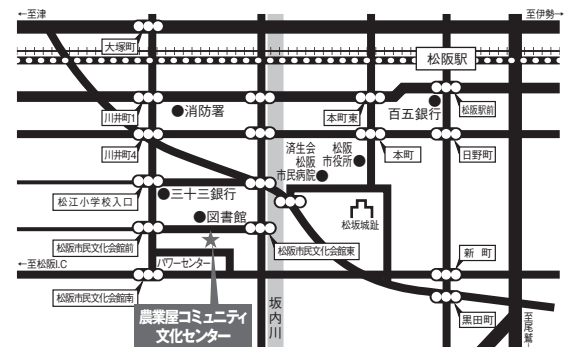
農業屋コミュニティ文化センター

〒515-0818 三重県松阪市川井町690 TEL 0598-23-2111

会場のご案内

- 公共交通機関の場合
[三重交通バス利用] 近鉄・JR松阪駅のJR改札口側バスターミナル2番のりばから「松阪中央病院行き」に乗り、[文化会館]下車すぐ。(所要時間/約15分)
[市街地循環バス「鈴の音バス」利用] 近鉄・JR松阪駅から左回りで「クラギ文化ホール」下車すぐ。(所要時間/約15分)
- お車でお越しの場合
伊勢自動車道松阪インターを降り、そのまま直進していただくと商業施設パワーセンターが見えてきます。その信号左折し、次の信号を右折すると会館が見えます。(松阪インターより約5km、所要時間/約7~8分)
※クラギ文化ホール、農業屋コミュニティ文化センターは同一敷地内にあり、駐車場も共用です。

お問い合わせ / 松阪能楽連盟(上森)TEL 0598-23-1935



●発熱などの症状ある方はご来場をお控えください。 ●入場時の混雑緩和のため、お時間に余裕をもってご来場ください。